

# 胃がん検診を受ける方へ

## ◎胃エックス線撮影

胃を膨らませる発泡剤を飲んだ後にバリウム（造影剤）を飲み、さまざまな角度から胃の内部をエックス線で撮影します。

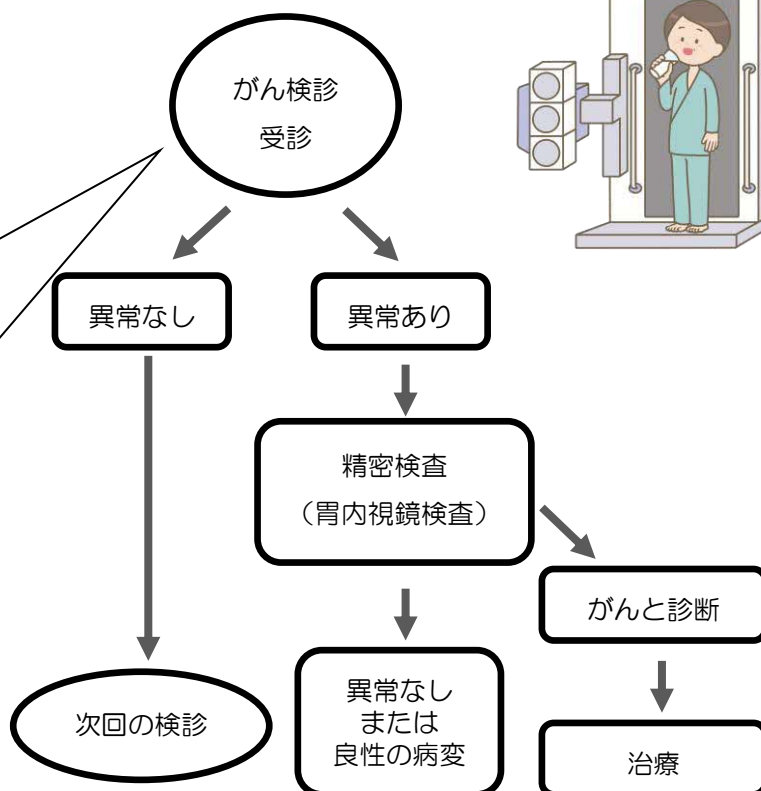
※胃がん検診で必ずがんを発見できるわけではありません。がんがあっても異常なしと判定されること（偽陰性）や、がんがなくても精密検査が必要となること（偽陽性）があります。

## ◎検診の流れ

対象：50歳以上の男女

### ※検診後の注意点

- ・下剤は忘れずにお飲みください。
- ・バリウムが長時間腸の中に残っていると、便が固くなり、排泄されにくくなります。極めてまれに、腸内に穴が開いたり、便が詰まったりする恐れがあります。受診後はできるだけ多く水分をとって下さい。



## ◎精密検査について

胃がん検診の結果、精密検査が必要になった場合は、必ず胃内視鏡検査による精密検査を受けてください。内視鏡検査は超小型カメラを口からまたは鼻から、胃の中に挿入して胃内部を多方面から撮影し、必要時組織などを採取する検査です。

## ◎結果の通知について

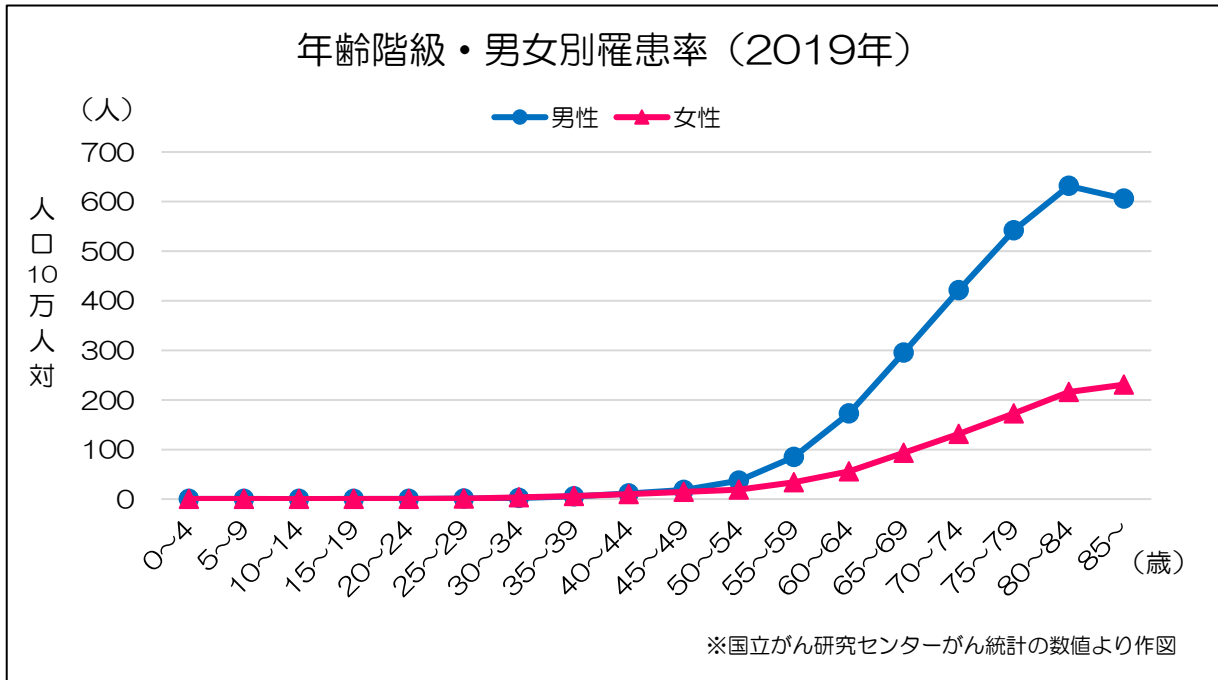
検診結果は約1か月後に郵送します。精密検査が必要となった場合は、保健センターにて、病院あての精密検査依頼書や画像データ等をお渡しします。

裏面もご覧ください

## いまだ多い胃がん

日本人の胃がん死亡順位は、男性3位、女性5位です。特に男性にかかりやすく、女性の2倍であると言われています。

初期には自覚症状がほとんどありませんが、がん検診で早期発見・早期治療することでほぼ治癒が可能です。



## 検診結果の取扱いについて

効果的で精度の高い検診を実施するためには、みなさまの検診結果を正確に把握する必要があり、ご本人や精密検査医療機関に検診結果の追跡調査を行う場合があります。検診結果は市で集計した後、国に報告し、有効性の評価などに用いられます。

一次検診及び精密検査に関する個人情報については、市民の健康向上を目的に、一次検診実施機関、精密検査実施機関と共有し、事後指導、受診勧奨などに使用することがあります。その際には、個人情報保護法等を遵守し、適正・厳格な取り扱いを行います。

## 1年に1回は検診を受けましょう

胃がん検診の受診間隔は1年度に1回です（※前年度、一次検診で市の胃内視鏡検診を受診された方は2年度に1回のため今年度の胃がん検診は受診不可）。毎年定期的に検診を受診しましょう。ただし、自覚症状があるときは、すぐに専門医を受診しましょう。